

普及活動情勢報告

情勢報告（平成26年7月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

情勢報告

大井川地域の水田農業を考える会（6月26日）



四万十町十和大井川地域の5つの集落協定と1つの集落営農組織の代表者6名に、農業委員と十和地域振興課、普及所が加わり、地域の農地を守る取り組みについて意見を交わしました。

大井川地域には、比較的広い農地があるが、70才を超える高齢者が多いことから、「農地を守っていくには集落営農を考えていかないかん。」という意見で一致しました。

組織化した場合の運営を心配する声も聞かれることから、10月～12月にかけて、先進地視察と先進地から講師を招き講演会を開催することになりました。

JA四万十「にこまる」の販売促進に向けた勉強会（7月4日）



お米に精通したフードソムリエの秋元薫先生を講師に迎え、JA四万十本所で30～40代の女性をターゲットとしたJA四万十「にこまる」に合う料理の勉強会を開催し、関係機関11名が参加しました。

勉強会では、四万十町産の食材を使い4品の料理を調理・試食した後、首都圏における女性の米の消費動向や今回の料理を含め今後の販売促進に対して意見交換しました。

参加者からは「味が強い食材でもごはんに合う」「粒がしっかりしているため、汁物とも相性が良い」などの声が聞かれました。

普及所は今後も、JA四万十の全国ブランド化における販売促進に対して、他産地情報や勉強会の企画立案等支援していきます。

「おかみさん市」への農薬の安全使用講習（7月14日）



四万十町十和の（株）おかみさん市の栽培講習会で農薬の安全使用について説明しました。

今回は、秋冬野菜の栽培講習会に合わせて行ったもので、10時、13時の開催には、計26名の参加がありました。農薬事故の事例紹介には、「初めて知った」という声など、新たな気づきを学ぶことができた様子でした。普及所からは、夏秋果菜類における土着天敵を活用した害虫防除について情報提供しました。

藤ノ川ファーマーズ役員会（7月16日）



集落営農組織「藤ノ川ファーマーズ」の役員会で、法人設立に向けたメリット、デメリット、補助事業等の情報提供を行いました。現在の水稲作業受託から、水稲経営ができる組織へと、27年から法人として活動することを目標に、発起人会で検討を進めていくことになりました。

目標収量の達成に向けて面談実施（7月10日）



新規就農者や収量アップをめざす農家を対象に、毎月、J Aと農家のほ場において面談を実施、各月の目標収量に対する実績の確認や栽培管理に関する助言を行っています。

農家からは、定植準備や防除に関する質問もあり、苗の生育状況やほ場の準備状況も一緒に確認しながら、アドバイスをしました。今後も目標収量の達成に向けて、支援を継続します。